Poderi Aldo Conterno

ポデーリ　アルド　コンテルノ

イタリア最高峰　王者のワイン

「ワインの王」と呼ばれるバローロの頂点に君臨するポデーリ・アルド・コンテルノ。創設者のアルド・コンテルノは、18 世紀からの歴史を誇るジャコモ・コンテルノの 5 代目ですが、跡継ぎとなったのは兄のジョヴァンニで、アルドは1969 年に自分の夢を実現するために独立することを決意。その際、ファヴォット・エステートを購入し、自らのワイナリー、ポデーリ・アルド・コンテルノを設立しました。ピエモンテの伝統的なスタイルを大切に受け継いできたアルド・コンテルノが作り出すバローロは、極めて熟成力が高く、その出来栄えは本家をも凌ぎ、国内外で確固たる地位と人気を不動のものにしています。

ポデーリ・アルド・コンテルノでは、現在、モンフォルテ・ダルバ村の銘醸地ブッシアに25ha の畑を所有し、その中にはブッシア最良の区画であるロミラスコ、チカラ、コロネッロも含まれています。この 3 つのクリュから厳選したブドウを使って最良年にのみ造られるのがグランブッシアです。一方で、このようにクラシックなスタイルと高い品質を維持するバローロの生産量を増やすことが難しいことから、ワイナリーでは、バルベーラやドルチェットから造るモダンワインにも目を向けています。一般的に大衆的なワインとされるこれらの品種も、彼らの手にかかればまた格別なワインに仕上がります。

【故アルド・コンテルノ】

2012 年にアルド・コンテルノが享年 81 歳でその生涯を閉じて以来、彼の 3 人の息子であるフランコ、ステファノ、ジャコモがワイナリーの運営を担っています。彼らは父親が築き上げた偉業を引き継ぐべく、徹底した収量制限と厳しい選果を行い、ワインには高品質のブドウのみ使用しています。また、醸造面では、伝統を重んじながらも近代的なアプローチも取り入れ、一貫した高品質を維持しつつ、テロワールの多様性が反映されたワインを生み出しています。

【フランコ、ステファノ、ジャコモ】

■テクニカル情報■　産地：イタリア/ピエモンテ州クーネオ県バローロ東南部モンフォルテ・ダルバ村　畑：ブッシア・ソプラーナ　畑面積：計 25ha　畑の向き：南・南西　標高：350～400m　栽培品種：ネッビオーロ、バルベーラ、ドルチェット、フレイーザ、シャルドネ、メルロ、カベルネ・ソーヴィニヨン　土壌：マグネシウムやマンガンを多く含む青白い石灰質の泥炭土と、鉄分を多く含む密度の高い灰褐色の砂土が交互に層を成す。醸造：フレンチオーク樽、スラヴォニアンオーク樽を使用。生産本数：約 9 万本

■2006 ヴィンテージ情報■　やや涼しい夏が過ぎ、二度の雨に見舞われながらもインディアンサマー（晩秋から初冬にかけて続く暖かい日）が続きました。ブドウは、そうした気候の変化にも耐えうるほど健全な状態でした。期待できるヴィンテージ。
≪ジャンシス・ロビンソン　ヴィンテージ・レポートより≫

■2015 ヴィンテージ情報■　2015 年は、ブドウの健康状態が良く、房の大きさも極めて均一に実った秀逸なヴィンテージとなりました。冬は非常に寒冷で雪が多く降り、春は冷涼で雨が多く、これにより地下水が蓄えられたため、記録的な猛暑に見舞われた 7 月に十分な水源を得ることが出来ました。暑い夏の影響でブドウの酸が比較的低く出た地域もありましたが、それでも尚、素晴らしいポテンシャルを秘めた良年となりました。

■2017 ヴィンテージ情報■　2017 年は、壊滅的な春の遅霜と局地的な雹害、極端な熱波により、イタリアでは過去 60 年間で最も低収量の年となりました。イタリア全土で前年比 25%の収量減となり、トスカーナ、シチリア、プーリアの収穫量は更に少なく、前年に比べて 30%も収穫量が減りました。イタリア北部は南部に比べると若干被害が少なく、ピエモンテやヴェネトでは前年比　15%の収量減に留まりました。ワインの醸造に十分なブドウを確保できた地域では、開花期に良い天候に恵まれ、ヨーロッパ全土で温暖な夏が長く続いたことで、クオリティに関しては期待の出来る年となりました。全ての品種においてブドウは例年よりも粒が小さく果実味が凝縮し、バランスのとれた良質で濃厚なマストが得られ、低収量ながらも芳醇なワインが出来ました。**≪デキャンタ　ヴィンテージ・レポートより≫**

■2018 ヴィンテージ情報■　生育期前半は、春霜や初夏の大雨など不安定な気候条件により栽培家の手腕が試されましたが、夏の中盤から終わりにかけて比較的安定した天候に恵まれたため、品質・収穫量ともに 2000 年以来の近年稀にみる優れたヴィンテージとなりました。ピエモンテ土着品種のペラヴェルガやコルテーゼ、ネッビオーロは特に最高の仕上がりで、収穫量は過去 50 年間で最低となった前年の 2017 年に比べるとピエモンテ州全体で 30%の収量増となりました。

■2019 ヴィンテージ情報■　2019 年は、春の冷たい雨によりブドウの成長が遅れ、病害の発生が懸念されたものの、土中に水分がしっかりと行き渡ったおかげで暑い夏を乗り越えることができました。暑く乾燥した日が 8 月まで続き、雹を伴う嵐があったものの、その後は素晴らしい天候が続きました。特にネッビオーロは、寒暖差の恩恵を受け、しっかりと酸を保持することができました。しかしながら 9 月上旬に雷雨と雹を伴う嵐が発生し、地域によりますが、特にバルバレスコでは収量が大幅に減少しました。収穫は 9 月上旬から 10 月にかけて行われました。この年は、豊かな果実味、素晴らしいストラクチャーと酸を湛えたワインになることが期待されています。

■2020 ヴィンテージ情報■　2020 年は、概して例年より温暖な気候であったため、ブドウの生育は順調に進み、収穫が早まりました。4 月まで暖かく乾燥した気候が続きましたが、以降は雨が多く、ウドンコ病の発生リスクが高まった地域もありました。8 月、9 月は素晴らしい天候に恵まれ、昼夜の寒暖差により、ネッビオーロは豊かなアロマ成分を蓄えることができました。収穫したブドウは、アロマ、バランス、ストラクチャーのどれをとっても申し分のない品質で、素晴らしい味わいのワインに仕上がりました。

■2021 ヴィンテージ情報■　ヨーロッパの多くの地域と同様に、イタリアもかなり荒れた天候に見舞われた年でした。全体として、生育期は雪が降るほど寒い冬で幕を開けました。その後、春は、大雨、霜、雹を伴う嵐に見舞われ、収量が大幅に減少しました。夏に入り、7 月は乾燥した暑い日が続き、8 月に発生した深刻な熱波が 9 月まで続きました。ピエモンテ地方は、かなり暑く、晴天が続いたため、フェノール類が熟し、腐敗や病気の心配はありませんでした。この年は、厳しい気候条件により、収量は例年より少ないものの、高品質のブドウが出来ました。夏は、暑く、乾燥していたため、凝縮度の高い果実を得ることができました。特にネッビオーロの果実は素晴らしいワインを生む高いポテンシャルを備えています。

担当：　@millesimes.co.jp　株式会社ミレジム　Tel.03-3233-3801　Fax.03-3295-5619

~ D.O.C. Langhe & D.O.C. Barbera D'Alba ~

2021 Quartetto Langhe Rosso 上代価格 ￥9,000 (税抜)
2020 Quartetto Langhe Rosso 上代価格 ￥8,500 (税抜)
2019 Quartetto Langhe Rosso 上代価格 ￥7,800 (税抜)

カルテット ランゲ ロッソ JAN:4543190213196(2019VT), 4543190213868 (2020VT) , 4543190214353 (2021VT)

ネッビオーロ、ピノ・ノワール、メルロ、シラー4品種のブレントから生まれる芳醇なアロマを持つ、フレッシュ感と豊かな風味が特徴のワイン。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア(D.O.C.ランゲ) 品種:ネッビオーロ、ピノ・ノワール、メルロ、シラー Alc.: 13.5%(2019VT,2020VT), 15%(2021VT) 畑:モンフォルテ・ダルバ 醸造:ステンレスタンクで 8～10 日間マセラシオンさせ、24-26℃でアルコール発酵。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせた後、オークキャスクに移して数ヶ月熟成。

2021VT★ワイン・スペクテーター92 点:深みのある色合い。ブラックチェリーやブラックベリー、スミレ、スイートスパイスの風味を帯びたこの赤は、フレッシュかつ複雑で、調和がとれている。焦点の定まった生き生きとした酸が魅惑的な長い余韻を生む。
≪飲み頃:2025-2030 掲載 | 2025/3/31 掲載≫

2020VT★ジェームス・サックリング 92 点:深みのある色とアロマを持つ。樽のスパイスや黒クルミ、ブラック・チェリー、コショウの実、リコリス、樹皮、マッシュルームのアロマが香る。飲み始めはしなやかだが、すぐにオーク由来のタンニンや濃厚で豊潤な果実味が口中に広がり、噛み応えのあるしっかりとしたストラクチャーが露わになっていく。ミディアム～フルボディ。スパイシーさを帯びた余韻が長く続く。
≪飲み頃:2025 年以降 | 2023/9/2 掲載≫ 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92 点

2019VT★ワイン・スペクテーター90 点:肉厚感があり、ブラックチェリーやカシス、タール、カンフル、鉄を思わせる香りを湛えている。しっかりとしたストラクチャーとバランスの良さが濃厚な後味にも長く感じられる。**≪飲み頃:2023-2028 年 | 2023/2/28 掲載≫**

2021 Barbera D'Alba Conca Tre Pile 上代価格 ￥8,400(税抜)
2020 Barbera D'Alba Conca Tre Pile 上代価格 ￥7,500(税抜)
2019 Barbera D'Alba Conca Tre Pile 上代価格 ￥6,500(税抜)

バルベーラ ダルバ コンカ トレ ピーレ
AN: 4543190213189(2019VT), 4543190213851 (2020VT) , 4543190214346 (2021VT)

この畑はブッシア・ソプラーナでも丘陵状になっている場所にあり、主にバルベーラが植えられています。最も樹齢の古いブドウは樹齢 45 年を数えます。古樹ならではの力強く持続するアロマに凝縮感のあるフレッシュな果実味、きめ細やかなタンニン、美しい樽香、ドライなフルボディの味わいが特徴的。鶏肉やチーズと抜群の相性を持つワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア(D.O.C.バルベーラ・ダルバ) 品種:バルベーラ 100% Alc.:14.5%(2019VT,2020VT),15.5%(2021VT) 畑:コンカ・トレ・ピーレ(ブッシア・ソプラーナの丘陵地) 樹齢:最も古い樹で 45 年 醸造:ステンレスタンクで 8-10 日間マセラシオンさせ、24-28℃でアルコール発酵。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせ、オークキャスクに移して数ヶ月熟成。**◆相性料理◆**赤身・白身の肉、鶏肉、チーズなど

2021VT★ワイン・スペクテーター89 点:酸と滑らかさが特徴の赤で、プラムやフルーツケーキ、土、スイートスパイス、タバコの風味が豊かに広がる。ギュッと詰まった凝縮感のあるフィニッシュ。**≪飲み頃:2025-2029 年 | 2025/1/6 掲載≫**

2020VT★ジェームス・サックリング 92 点:レッドチェリーを思わせる優美で心地よいベリーのアロマにマッシュルーム、クルミ、繊細なスパイスが香る。豊潤なミディアムボディで繊細なタンニンを持ち、スパイシーな後味がどこまでも続く。
≪飲み頃:2028 年以降 | 2023/9/2 掲載≫ 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター90 点

2019VT★ワイン・スペクテーター90 点:滑らかさと緻密さを兼備した赤で、ブラックチェリー、カシス、スミレの風味が特徴的。非常にバランスが良く、今飲んでも楽しめるが、しっかりとしたストラクチャーがあり、今後 5 年間は発展していく可能性を秘めている。
≪飲み頃:2022-2027 年 | 2022/12/31 掲載≫

2021 Langhe Nebbiolo Il Favot 上代価格 ￥11,000(税抜)
2020 Langhe Nebbiolo Il Favot 上代価格 ￥10,000(税抜)
2018･2019 Langhe Nebbiolo Il Favot 上代価格 ￥9,500(税抜)
2017 Langhe Nebbiolo Il Favot 上代価格 ￥8,800(税抜)

ランゲ ネッビオーロ イル ファヴォット JAN:4543190211796(2017VT), 4543190212472(2018VT), 4543190213202(2019VT), 4543190213875(2020VT),4543190214360 (2021VT)

赤いベリー、チェリー、カシス等の豊かなアロマを伴う品種の持ち味が余すところなく表現されたワイン。酒齢の若いうちから美味しく味わえますが、熟成させても楽しめます。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.ランゲ) 品種:ネッビオーロ 100% Alc.:13.5～14.5% 前後 樹齢:最大 15 年 醸造:ステンレスタンクで 6-8 日間マセラシオンさせて、24-26℃で発酵を行う。ステンレスタンクで数ヶ月寝かせ、数回澱引きした後、オークキャスクに移して数ヶ月間熟成させ、瓶詰を行う。

2021VT★ワイン・スペクテーター90 点:快活な酸を持つ引き締まった赤で、チェリーやブラックベリーの風味に土やスイートスパイスのニュアンスが香る。濃密な後味にはタンニンが感じられ、果実やスパイスの風味が長く続く。
≪飲み頃:2025-2028 年 | 2025/4/30 掲載≫

担当: @millesimes.co.jp 株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

2020VT★ジェームス・サックリング 93 点:ミネラルを伴う心地よいアロマを持ち、砕いた石や鉄、海藻、スパイシーなブラッドオレンジ、クランベリーを思わせる豊かなアロマが漂う。しっかりとしたストラクチャーを備えた伸びやかで肉付きの良い味わい。果実味よりも緊張感を伴う張りのあるミネラルが顕著に感じられる。ピュアさを湛えたネッビオーロ・ランゲは緻密かつクリアで、長い余韻を持つ。今、まさに飲み頃だが、熟成させても美味しく味わえるだろう。≪2023/9/2 掲載≫ 2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92 点

2019VT★ワイン・スペクテーター88 点:しっかりと引き締まった赤で、カシス、ブラックチェリー、スギ、サンダルウッド、タバコの風味が特徴的。ギュッと詰まった後味は、堅牢ながらも、爽やかなリンゴの皮のアロマが漂う。≪飲み頃:2024-2032 年 | 2022 掲載≫

2018VT★ワイン・スペクテーター90 点:イチゴやチェリー、スグリ、ヨードの香りを帯びたジューシーで複雑な味わいが特徴。しっかりとした後味で、繊細な余韻が続く。今が飲み頃。生産量:1,500 ケース≪2021/11/15 掲載≫

2017VT★ジェームス・サックリング 93 点:胡桃やダークチョコレートのアロマと風味が香るフルーティでクリーミーな赤ワイン。仄かな珈琲豆のニュアンスがごく微かに香る。ふくよかで風味豊かな味わい。酒齢の若い乳飲み子のようなバローロさながら、柔らかな味わいとなるまでに時間を要するワインである。≪飲み頃:2021 年ー | 2020/5/14 掲載≫ 2017VT 他誌評価★パーカーポイント 88 点

2021・2020 Langhe Chardonnay Bussiador 上代価格 ￥20,000(税抜)

ランゲ シャルドネ ブッシアドール JAN: 4543190213844(2020VT), 4543190214339(2021VT)

アルコール分の高い凝縮感のあるシャルドネのみを厳しく選別して造られるこのワインは、少量生産のため、その希少価値の高さから「幻のシャルドネ」、「白のグランブッシア」と呼ばれています。しっかりとしたストラクチャーを備えた、熟成力の高いイタリア最高級の白ワインです。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.ランゲ) 品種:シャルドネ 100% Alc.:14.5% 畑:ブッシア地区の複数区画 収穫:9 月初旬 醸造:3-4 日間ステンレスタンクで寝かせた後、樽に移し 20-24℃でアルコール発酵。澱引きした後、再度樽に戻し数ヶ月熟成。 ◆相性料理◆魚のオーブン焼き、魚のグリル・串焼き

2021VT★ワイン・スペクテーター87 点:バタースコッチやバニラ、バーボンの風味がこの引き締まったスタイルを際立たせている。濃密な後味が長い余韻を生み、樽の要素がしっかり感じられる。≪2024/12/23 掲載≫

2020VT★ジェームス・サックリング 93 点: 砂糖をまぶしたレモンやマンゴー、アーモンド、スイカズラのアロマに蝋のニュアンスが香るふくよかなシャルドネ。心地よい果実味とクリーミーな質感を備えたミディアム～フルボディで、まろやかな後味が長い余韻を生む。
≪飲み頃:2023 年以降 | 2023/8/7 掲載≫2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター89 点

— D.O.C.G. Barolo —

2020・2018 Barolo Bussia 上代価格 ￥22,000(税抜)

2019 Barolo Bussia 上代価格 ￥20,000(税抜)

バローロ ブッシア JAN: 4543190213219(2018VT), 4543190213882(2019VT), 4543190214377 (2020VT)

チェリーやベリー系果実の華やかなアロマにスパイスが仄かに香る、極めて洗練されたタンニンを湛えた見事な味わい。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区(D.O.C.G.バローロ) 品種:ネッビオーロ 100% Alc.:14%前後 土壌:粘土質 樹齢:15-20 年 醸造:ステンレスタンクで 20-30 日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵中の温度は最高で 32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2020VT★パーカーポイント 95 点:この特別なクリュ由来の洗練された力強さが際立つ、繊細でシルキーなワイン。チェリーやカシスを思わせる生き生きとした果実味があり、徐々にアヤメの根やリコリスを思わせるアーシーなニュアンスを帯びていく。仄かに香水や教会のお香のようなアロマが漂う。味わいにもこの美しく力強いニュアンスが感じられ、バランスの良いフレッシュ感と中程度以上の厚みのある豊かな味わいが続く。≪飲み頃:2026-2045 年 | 2025/1/31 掲載≫

2020VT★ジェームス・サックリング 94 点:スイカや葉、新鮮なスミレ、イチゴを思わせる魅力的なアロマ。優雅さを纏った風味豊かなフルボディで、桃の果実味に溶け込んだビロードのように滑らかなタンニンや瑞々しい酸を備え、洗練されたフィニッシュが続く。少なくとも 10 年の熟成ポテンシャルを持つバローロだが、今飲んでも十分美味しく味わえる。≪2024/4/30 掲載≫
2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター93 点 ★ヴィノス 92 点

2019VT★ワイン・スペクテーター95 点:チェリーやラズベリー、バラ、甘いスパイスの風味を持つ豊満な赤。調和のとれた魅力的なワインで、鮮やかな酸と綺麗に溶け込んだタンニンを備え、バニラの香りを纏った余韻がどこまでも続く。
≪飲み頃:2026-2045 年 | 2024/4 掲載≫ 2019VT 他誌評価:★ジェームス・サックリング 94 点、ヴィノス 92 点

2018VT★ジェームス・サックリング 93 点:乾燥させたレッドベリー、押し花、ブラジルのナッツを思わせる心地よいアロマを持つ。スパイシーな果実味を伴うミディアムボディ。例年より控えめなタンニンが、中盤に広がりのある味わいをもたらす。やや引き締まった後味に果実とスパイスの風味が漂う。≪飲み頃:2023 年以降 | 2022/10/2 掲載≫ 2018VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター93 点:

担当: @millesimes.co.jp 株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

2020 Barolo Colonnello　上代価格　￥34,000(税抜)
2019 Barolo Colonnello　上代価格　￥32,000(税抜)

バローロ コロネッロ　JAN: 4543190213899(2019VT), 4543190214384(2020VT)

滑らかなタンニンを持つ洗練された味わい。

■テクニカル情報■　産地:ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区（D.O.C.G.バローロ）品種:ネッビオーロ 100%　Alc.: 15%　畑:コロネッロ　樹齢:45-50 年　土壌:砂の多い砂礫質　醸造:ステンレスタンクで 30 日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の温度は最高で 32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2020VT★ジェームス・サックリング 98 点:鮮やかなガーネット色。スイカやミント、新鮮なスミレ、石のようなミネラル香が漂う深みのある力強いアロマ。甘美なフルボディの味わいで、際立つ酸があり、力強いワインでありながらもビロードを思わせる類を見ない上品なタンニンを持つ。オークは完全に溶け込んでいて、長期熟成型のバローロらしい引き締まったフィニッシュが印象的。
≪飲み頃:2027 年以降｜2024/4/30 掲載≫

2020VT★ワイン・スペクテーター95 点:調和のとれた滑らかな赤。チェリーやラズベリー、バラ、ミネラル、ワイルド・ローズマリー、オーク由来のスパイスを思わせる香りと味わい。複雑さや表現力の豊かさに加えて、しっかりとしたストラクチャーが感じられ、繊細な余韻がどこまでも続く。素晴らしいポテンシャルを秘めている。**≪飲み頃: 2028-2047 年｜2025/2/28 掲載≫**
2020VT 他誌評価:ヴィノス 93 点

2019VT★ジェームス・サックリング 97 点:ストロベリーや桃、オレンジの皮を思わせるアロマに新鮮な切り花のアロマが漂う。ビロードのようなタンニンを持つフルボディで、繊細なテクスチャーを備えた上品ながらも官能的な味わいが印象的。タニックな年にしては、洗練されており、調和がとれている。**≪飲み頃:2027 年以降｜2023/11/28 掲載≫　2019VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター96 点、ヴィノス 92 点**

2020 Barolo Cicala　【750ml】上代価格　￥36,000(税抜)
2020 Barolo Cicala　【1.5L】上代価格　￥74,000(税抜)
2019 Barolo Cicala　【1.5L】上代価格　￥70,000(税抜)

バローロ チカラ

JAN:　4543190213912 (2019VT/1.5L), 4543190214391 (2020VT/750ml), 4543190214407(2020VT/1.5L)

イタリア語で「セミ」を意味するチカラと名付けられたこの畑は、45−50 年前に開墾され、幾度かブドウ樹の植え替えが行われました。主要品種は、ランピアというネッビオーロのクローンで、アメリカ原産のルペストリス種の台木から接ぎ木されました。

■テクニカル情報■　産地:イタリア北部ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区（D.O.C.G.バローロ）品種:ネッビオーロ 100%　Alc.:15%　畑:チカラ　土壌:粘土・石灰岩質　樹齢:最大 45-50 年　醸造:ステンレスタンクで 30 日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の温度は最高で 32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

2020VT★ジェームス・サックリング 97 点:深みのあるガーネット色。香りは控えめで、シナモンや甘いスミレ、チェリーの種、バルサミコのような香りがふわりと漂う。濃厚なアタックが印象的な凝縮感のある味わいで、力強さの中にビロードのような滑らかさがある。洗練されたシャープなタンニンは持続性があり、酸も綺麗に溶け込んでいる。見事なバランスと凝縮感を兼備したワイン。
≪飲み頃:2030 年以降｜2024/5/1 掲載≫

2020VT★ワイン・スペクテーター95 点:力強いワインで、チェリーやラズベリー、鉄、メントール、スパイスの風味をしっかりとしたタンニンと爽やかな酸が引き立てている。コショウを思わせるピリッとした快活な味わいは、エネルギッシュで、長い余韻が印象的。見事なバランスと豊かな表現力を持つワイン。**≪飲み頃: 2027-2047 年｜2025/2/28 掲載≫　2021VT 他誌評価:ヴィノス 93 点**

2019VT★ジェームス・サックリング 96 点:焼いたオレンジの皮、ナツメグ、ヘーゼルナッツ、熟したドライ・ストロベリーのアロマが香る。ミディアム～フルボディ。直線的でしっかりとしたタンニンがあり、フレッシュで生き生きとした後味が印象的。躍動感を備えた上質なワイン。
≪飲み頃:2027 年以降｜2023/7/28 掲載≫　2019VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター97 点、ヴィノス 94 点

2020　Barolo Romirasco　上代価格　￥54,000(税抜)

バローロ ロミラスコ　JAN:　4543190214414

ロミラスコの畑は、50−55 年前に開墾され、その後何度かブドウ樹の植え替えが行われました。主要栽培品種は、ランピアというネッビオーロのクローンで、アメリカ産のルペストリス種の台木から接ぎ木されました。

■テクニカル情報■　産地:イタリア北部ピエモンテ州バローロ東南部ブッシア地区（D.O.C.G.バローロ）品種:ネッビオーロ 100%　Alc.:15%　畑:ロミラスコ　土壌:石灰岩・粘土・マグネシウム　樹齢:50-55 年　醸造:ステンレスタンクで 30 日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の最高温度は 32℃。数回澱引きし、オークキャスクで熟成。

★ワイン・スペクテーター97 点:張り詰めたような緊張感や密度の高いタンニン、オーク由来のスパイスのアロマとフレーバーを備えながらも、優雅で繊細なスタイル。イチゴ、チェリー、バラを主体としたアロマにブラックペッパーやスパイスの効いた青菜のニュアンスが香るスパイシーな赤。酸が全体を引き締め、果実味やミネラル感、スパイスのニュアンスを伴う長い余韻へと続く。卓越したポテンシャルを感じさせる。**≪飲み頃: 2028-2048 年｜2025/2/28 掲載≫**

★ジェームス・サックリング 97 点:濃厚なガーネット色を呈し、深みと力強さが際立つ。ルバーブやビターオレンジ、地中海のハーブ、パルマ産のスミレ、シナモンを思わせる香りが漂う。アタックは堅牢で、密度が高く、ビロードのような質感を持つ。フルボディで、見事な果実の凝縮感があり、黒鉛のようなミネラル感とともに引き締まった爽やかな酸が広がる。長期熟成を期待させるしっかりとしたストラクチャーはあるものの、過度なエキス分は感じない。**≪飲み頃:2027 年以降｜2024/5/1 掲載≫　2021VT 他誌評価:ヴィノス 94 点**

担当:　@millesimes.co.jp　株式会社ミレジム　Tel.03-3233-3801　Fax.03-3295-5619

2015 Barolo Riserva Granbussia　上代価格 ￥140,000 (税抜)
2006 Barolo Riserva Granbussia　上代価格 ￥150,000 (税抜)

バローロ リゼルヴァ グランブッシア　JAN:4543190210072(2006VT),4543190214421(2015VT)

バローロ・リゼルヴァ・グラン・ブッシアには、ブッシア最良の区画、ロミラスコ、チカラ、コロネッロで育つ最も樹齢の古い樹から丹念に手摘みで選定されたブドウを使用。リリース前に少なくとも 9 年間をセラーで過ごす最高のヴィンテージのみ限定生産される特別なワインです。ジェームス・サックリング 100 点を 2 回(2005 年、2008 年)獲得し、不動の人気を誇ります。

■テクニカル情報■ 産地:ピエモンテ州バローロ東南部モンフォルテ・ダルバ(D.O.C.G.バローロ) 畑:ロミラスコ、チカラ、コロネッロ 品種:ネッビオーロ100% Alc.:14%前後 醸造:ステンレスタンクで30日間、マセラシオンを施しながらアルコール発酵。発酵時の最高温度は 32℃。澱引きし、オークキャスクで熟成。

■コメント■ 外観は、濃いルビー色。湿った葉、林床、新鮮なキノコを思わせる深みのあるアロマがあり、空気に触れるとプラムやブロンドのタバコのニュアンスが表れ複雑さを増していく。味わいは、フルボディで生き生きとした果実味とエネルギーを湛えながらも、エレガントさも感じられる。後味にセージやダークチョコレートの風味が広がり、長い余韻がどこまでも続く。 少なくとも 20 年先まで楽しめる秀逸なワイン。

2015VT★ワイン・スペクテーター97 点:適度な円やかさを帯びていて、ラズベリーやチェリー、干し草、鉄、オーク由来のスパイスの風味に白トリュフやバラ、秋の森を思わせるニュアンスが香る。しっかりとした酸と密度の高いタンニンがワインを支え、重層的に広がる余韻がどこまでも続く。非常に魅力的なワイン。**≪飲み頃: 2026-2048 年 | 2025/2/28 掲載≫**

2015VT★ヴィノス 96 点:非常にセクシーなワイン。よく熟した継ぎ目のない魅力的なワインで、完璧な仕上りだ。プラムやブラッドオレンジ、スイートスパイス、ザクロ、フレンチオーク新樽のニュアンスを完熟したタンニンが包み込む。すべての要素が綺麗に調和している。魅力溢れるワインだが、ややオークが濃厚な印象だ。その一方で、10 年ほど経った今でも非常にフレッシュである点は強調しておきたい。グランブッシアは手が出しにくい価格帯のワインだとは思うが、とても素晴らしいワインであることに疑いの余地はない。
≪飲み頃:2024-2034 年 | 2025/1 掲載≫

2006VT★パーカーポイント 97 点:ピエモンテらしさに溢れたワイン。優美で繊細なアロマながらも、力強く、持続性がある。最初はシャイで控えめな印象だが、一度開き始めると止まらない。黒果実やスパイス、タール、リコリス、鉛筆の削りかすの香りに微かに鉄のようなニュアンスが漂う。見事なフィネスを備え、非常に長い熟成に耐えうるポテンシャルを備えている。シルクのように滑らかなタンニンがあり、圧倒的な力強さと持続性が印象的。**≪飲み頃:2018-2040 年 | 2017/7/1 掲載≫**

2006VT★ワイン・スペクテーター97 点:最初から最後まで素晴らしい。チェリーやリコリス、サンダルウッド、タールのアロマに濃厚な風味と瑞々しいテクスチャーが加わり、華やかに花開いていく。複雑で完全無欠な余韻に綺麗に溶け込んだタンニンが印象的。
≪2014/11/30 掲載≫ 2006VT 他誌評価:★ヴィノス 96 点 ★ジェームス・サックリング 95 点

担当:　@millesimes.co.jp　株式会社ミレジム　Tel.03-3233-3801　Fax.03-3295-5619